

▶中央中学校の会議室



スを必要としているのかなど、個々のニーズを分析し、実態に即した目標数値を定め、それに対応し得る適切な支援が行える体制整備に努めていきたい。

問 障がい者自立支援法における低所得者への十分な配慮が必要と考えるが、八街市としてどのように配慮等していくのか。

市長 1割の費用負担増を理由にサービスを削減せざるを得ないことから、制度の見直しを求める声が国に対し多く寄せられていると聞いている。このような声を受け、改善策が、国において検討中であるとの報道がされたところです。

サービス利用料に関する 今後の国の動向を注視しながら、適切な対応をしていきたい。

◀市立図書館



生涯学習の充実

問 学校教育に支障のない限り、学校施設における市民の学習等機会増大にどのように取り組んでいくのか。

教育長 各幼小中学校の視聴覚室や図書室等を利用した家庭教育学級や、体育館等を利用した地域ミニ集会事業などを実施している。

なお、八街中央中学校の 校舎の一部は、地域・学校・家庭の連携基盤施設であり、会議室や和室等を市民の生涯学習の場として、来年度より活用できるように調整し、市民の学習機会の増大に供していきたい。

問 公民館や図書館などの機能充実に今後どのように取り組んでいくのか。



教育長

中央公民館では、学習講座は平成17年度におきましては、33講座で、延べ130回開催し、3千310人の参加があった。

図書館では、平成17年度入館者約29万1千人、利用者数約8万4千人、貸出冊数は、約38万5千冊となっている。インターネットによる予約件数は、休日・夜間にかかわらず利用申し込みが可能であること等から、平成17年度は1万388件で52・1%をしめている。目の不自由な方がCDや朗読テープを利用しやすいよう、送料無料で貸出・返却ができる特定録音物等郵便物発送施設の指定を平成17年2月に受けたところである。

誠和会

- 山本 義一
- 山本 邦男
- 古川 宏史
- 北村 新司
- 横田 義和
- 中田 眞司
- 湯浅 祐徳
- 小高 良則
- 山口 孝弘

代表質問 北村 新司

市長の4期目の政策

問 「健康」「安心」「安全」の住みよい街づくりについて伺う。

市長 新たな取り組みとしては、次世代育成支援事業として乳幼児の医療費助成対象年齢の引き上げによる子育て支援の充実や市内小規模事業者の育成と地域経済の活性化を図るため、小規模自営業者育成事業として、市発注の小規模工事として、市内登録自営業者に発注する制度を実施したいと考えています。他にもより市民の方々が健康で安全と安心を実感できる、住みよい活力のある街づくりに健全財政を維持しながら、取り組みたいと考えています。

問 重点施策である「次世代育成支援事業」「小規模自営業者育成事業」の内容を伺う。

市長 次世代育成支援事業は、通院における医療費の助成対象年齢を1歳引き上げ、3歳未満児から4歳未満児に平成19年4月1日から改正する予定であり、乳幼児医療費助成事業の充実に努めます。

小規模自営業者育成事業は、市内在住の小規模事業者を対象に、市が発注する設計金額が50万円以下の軽易な工事や修繕の受注を希望される方に受注機会を拡大することにより、小規模事業者の育成や地域経済の活性化に寄与することを目的とするもので、平成19年6月1日からの実施に向けて協議中です。

問 平成19年度の予算編成方針を伺う。

市長 「健康」「安全」「安心」の住みよい活力ある街づくりを基本理念として、費用対効果、緊急度、サービス水準の適正化、財源措置等に十分留意し、厳しい財政状況のもと限られた財源を重点的・効果的に配分する施策精選型の財政運営

◀検診の様子



に努め、さらに集中改革プランに基づく事務事業の見直し、定員適正化計画に沿った人件費の見直し等を一層徹底することにより、向こう5力年の財政運営も視野に入れた通年型予算として編成したいと考えています。

教育問題

問 心の教育について伺う。

教育長 1点目に道徳や学級指導、特別活動の時間を通して、ゲストティーチャーを招き、道徳実践力が身につくような指導をしています。2点目に総合的な学習の時間等の中で自分たちの住む地域の人々とのふれあいを大切に行っています。3点目には、学校・家庭・地域が連携し、三世代の交流活動や児童・生徒の健全育成を幅広く活動を行っ